

浜田医療センター附属看護学校（浜田市）

1年の学びを終えて③

養護教諭になり親に恩返し

2年 北村 海月

小児保健の講義では多くの事例や新聞記事、先生の体験談などを元に教科書だけでは学ぶことができない深い勉強をすることができました。その中で、親の偉

大きさやありがたさに改めて気付くことができました。

食事についての講義の時に、親が作ってくれる料理をふと思いつきました。私の親は土日に作り置きをして平日でもおいしい料理が

食べられるように肉料理、魚料理の順番を考えてく

れ、高校の頃は5品以上3

色以上のおいしい弁当を作

つてくれていました。私は

当たり前の生活と思い、自分

が幸せであることに気付

いていませんでした。

講義を通して、自分とは

患者に食事の大切さを伝える

2年 三浦 沙希

小児保健で食育の授業を受けて、食事からさまざまな影響を体に受けることが分かった。授業で1週間、

違う環境で育っている人が身近にもいることを知り、衝撃を受けました。自分が今まで親にしてもらったことを無駄にすることなく、過ごしたいと思いました。

先生のように、子どもの心に何かを残すことができると、養護教諭になり、親へ恩返しできるような頑張りたいと思います。

自分がバランスの良い食事が取れているか調べたところ、取れていない栄養があるなど、今まで気にすることがなかった栄養面を考えることができた。

食事は人が生きていくためにとても重要で、栄養を無視して食事をしてしまうと、さまざまな病気に進んでいく。また、自分の食事内容がおろそかになると、将来子どもができたときに偏った食事になってしまう。虐待によって食事が取れない子どもが栄養不足で病気になった事例を授業で聞いた。食事が及ぼす影響はとても大きいことが分かり、自分も食事内容を見直すことが大事だと思えた。

日本の性教育の充実を願う

2年 佐藤 桃果

望まぬ妊娠をしてしまう若者がいることは聞いたことがあり、なぜそのようなことが起こってしまうんだらうかと思っていました。小児保健の授業を受けて、子どもの頃に性教育がしっかりとされていないことも一つの原因だと思いました。性に関することは友達や親に聞きにくい人も多いため、

と思いました。私自身、中学高校の保健の授業で性教育について学ぶ機会はありませんでしたが、そこまで詳しくは知りませんでした。

日本の性教育は世界に比べて不十分であり、もっと詳しく学ぶ必要があると思います。そうしないとこれから性に関する問題は増えていくのではないかと心配しています。